

科 目		C言語基礎 I (前期)				
担当教員	加藤 雅博	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	102	単位時間		
1. 概要						
目的	C言語の基本的な知識（変数、予約語、型、演算子、条件分岐、繰り返し構造、配列）について学習する。行数50行程度までの簡単なプログラミングができ、サーティファイC言語プログラミング能力認定試験3級の取得を目標とする。当科目は後期のプログラミング応用の前提知識となる。					
2. 講義計画						
第 1 週	開発環境設定／最も単純なプログラム作成					
第 2 週	C言語の基本（画面出力、main関数、ブロック、コメント、インクルード）					
第 3 週	変数（識別子、型、宣言、代入、初期化）					
第 4 週	式と演算子 1（式、演算子、オペランド、インクリメント）					
第 5 週	式と演算子 2（代入、優先順位、キャスト）					
第 6 週	場合に応じた処理（条件、関係演算子、条件判断文、if文、else文）					
第 7 週	場合に応じた処理（条件、関係演算子、条件判断文、switch文）					
第 8 週	何度も繰り返す（繰り返し、for文）					
第 9 週	何度も繰り返す（繰り返し、while文、do-while文、break文、continue文）					
第 10 週	配列 1（配列の宣言、配列要素、添字、配列の初期化）					
第 11 週	配列 2（マクロ、多次元配列、文字列と配列）					
第 12 週	関数 1（関数の定義、関数の呼び出し、引数、戻り値、変数）					
第 13 週	関数 2（スコープ、記憶寿命、関数の宣言）					
第 14 週	関数 2（標準ライブラリ関数）					
第 15 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題					
第 16 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題					
第 17 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題					
第 18 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題					
3. 関連科目及び注意点						
情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。						
4. 成績評価の方法						
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）					
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）					
6. 注意事項						
パソコンを使つての実習である。						

科 目		C言語基礎Ⅱ（後期）				
担当教員	加藤 雅博	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	前期のIT理論（C言語部門）の応用編である、C言語を使用した構造体、ポインタ、ファイルを使用したプログラミングを学ぶ。簡単な実用的なプログラムが作れ、サーティファイC言語プログラミング能力認定試験2級に合格することを目標とする。					
2. 講義計画						
第 1 週	C言語1の復習					
第 2 週	ポインタ1（メモリ、アドレス）					
第 3 週	ポインタ2（ポインタ、アドレス演算子、間接参照演算子、const）					
第 4 週	配列・ポインタの応用1（配列とポインタの関係、引数と配列）					
第 5 週	配列・ポインタの応用2（文字列とポインタ、標準ライブラリ関数）					
第 6 週	配列・ポインタの応用3（文字列操作関数、メモリ操作関数）					
第 7 週	いろいろな型1（構造体、メンバ、ドット演算子、typedef）					
第 8 週	いろいろな型2（アロー演算子、共用体、列挙）					
第 9 週	ファイル入出力1（ストリーム、変換仕様、ファイル入出力）					
第 10 週	ファイル入出力2（バイナリアクセス、ランダムアクセス、コマンドライン引数）					
第 11 週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第 12 週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第 13 週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第 14 週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第 15 週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第 16 週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第 17 週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第 18 週	C言語プログラミング能力認定試験3級練習問題					
3. 関連科目及び注意点						
情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。						
4. 成績評価の方法						
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）					
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）					
6. 注意事項						
パソコンを使つての実習である。						

科 目		情報処理講座 I (前期)				
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	講義	単位時間	102	単位時間		
1. 概要						
目的	基本情報処理技術者試験の認定講座。認定教材を使って学習を進める。ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク・データベースなど、多岐の分野の学習をする。後期の情報処理講座Ⅱに続く。					
2. 講義計画						
第 1 週	コンピュータの歴史・五大装置					
第 2 週	データの表現					
第 3 週	基数と基数変換 1					
第 4 週	基数と基数変換 2					
第 5 週	中央処理装置の構成					
第 6 週	主記憶装置の構成					
第 7 週	命令とアドレッシング					
第 8 週	ALUの構成回路、高速化技術					
第 9 週	磁気ディスク装置					
第 10 週	光ディスク、半導体メモリ、その他の補助記憶媒体・装置					
第 11 週	入力装置・出力装置、入出力インターフェース					
第 12 週	情報処理システムの処理形態、高信頼化システムの評価					
第 13 週	ヒューマンインターフェース、マルチメディア					
第 14 週	ソフトウェアの分類、OS					
第 15 週	プログラム言語と言語プロセッサ					
第 16 週	ファイル					
第 17 週	試験練習 1					
第 18 週	試験練習 2					
3. 関連科目及び注意点						
	C言語、アルゴリズム、情報処理講座 I					
4. 成績評価の方法						
	平常点および定期試験（筆記試験）にて行う。					
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: ITワールド					
参考書	:					
6. 注意事項						
	座学。					

科 目		情報処理講座Ⅱ（後期）				
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種別	講義	単位時間	68	単位時間		
1. 概要						
目的	基本情報処理技術者試験の認定講座。認定教材を使って学習を進める。ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク・データベースなど、多岐の分野の学習をする。情報処理講座Ⅰの続きとなる。					
2. 講義計画						
第 1 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（ハードウェア）	・解説			
第 2 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（情報システム）	・解説			
第 3 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（ソフトウェア）	・解説			
第 4 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（ネットワーク）	・解説			
第 5 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（データベース）	・解説			
第 6 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（情報セキュリティ）	・解説			
第 7 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 8 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 9 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 10 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 11 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 12 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 13 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（データベース）	・解説			
第 14 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（データベース）	・解説			
第 15 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（言語）	・解説			
第 16 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（言語）	・解説			
第 17 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（言語）	・解説			
3. 関連科目及び注意点						
※午前試験、午後Ⅰ試験、午後Ⅱ試験があるが、進捗状況によってどの問題を行うか変えていく。						
4. 成績評価の方法						
平常点および定期試験（筆記試験）にて行う。						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	ITワールド、ITワールド問題集					
参考書	:					
6. 注意事項						
座学。						

科 目		コミュニケーション I (前期)				
担当教員	高橋 敦司	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要						
目的	①自分や相手の考えや思いを、知ること ②自分の考えや思いを、表現できること ③自分の考えや思いを、相手に伝えることができること					
2. 講義計画						
第 1 週	授業関しての簡単な説明・自己紹介					
第 2 週	はじめての人と話すとき					
第 3 週	知っている人にあつたとき					
第 4 週	話しかけるきっかけをつかみたいとき・だれかと友だちになりたいとき					
第 5 週	仲直りしたいとき・相手の気持ちを知りたいとき					
第 6 週	「ビミョ〜」って答えたくなっちゃったとき					
第 7 週	うれしいとき					
第 8 週	なんだかモヤモヤしているとき					
第 9 週	からかわれてへこんだとき・仲がいいこにからまれたとき					
第 10 週	みんなに合わせるのが苦しくなったとき					
第 11 週	シカトする側になっちゃったとき					
第 12 週	キレそうなとき					
第 13 週	「どうせじぶんなんて・・・」と思ったとき					
第 14 週	見た目や					
第 15 週	「思いちが					
第 16 週	整理して伝えたいとき・5W1Hトレーニング					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
試験（実技試験）と平常点で評価						
5. 教科書および参考書など						
教科書	: なし					
参考書	コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング					
6. 注意事項						

科 目	コミュニケーションⅡ（後期）					
担当教員	高橋 敦司	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	①自分や相手の考えや思いを、知ること ②自分の考えや思いを、表現できること ③自分の考えや思いを、相手に伝えることができること				
2. 講義計画						
	第 1 週	ややこしいことを説明するとき・相手にわかりやすく伝えたいとき				
	第 2 週	「どうしたいのか」わからなくなったとき・「どうしたいのか」決められないとき				
	第 3 週	誤解されちゃったとき				
	第 4 週	じぶんの言っていることをみとめてもらいたいとき				
	第 5 週	ケンカを解決したいとき				
	第 6 週	ヤバイ！って思ったとき・「おこられる」って思ったとき				
	第 7 週	だれかと交渉したいとき				
	第 8 週	「どうだった？」と聞かれてこまったとき				
	第 9 週	「聞いてる？」と言われちゃったとき				
	第 10 週	話しやすい人と思われたいとき・友だちをなぐさめたいとき				
	第 11 週	説明がわからないとき・どう質問したらいいかわからないとき				
	第 12 週	シェアで言い返したいとき				
	第 13 週	ことわられてへこんだとき				
	第 14 週	るす番していて電話がかかってきたとき・電話基本トレーニング				
	第 15 週	だれかにていねいに言うとき・感じよく言いたいとき				
	第 16 週	お願いするとき・言いにくいことを言うとき				
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	実技試験と平常点で評価					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	: なし				
	参考書	コミュニケーションに自信がつく 44 のトレーニング				
6. 注意事項						

科 目		2 D C G 概 論 I (前 期)				
担当教員	玉谷真希	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68 単位時間			
1. 概要						
目的	Adobe社Photoshopの使い方をマスターする。Photoshopは画像処理ソフトの中で最もメジャーなソフトであり、Webデザインなどにも活用されている。このソフトウェアの操作方法をマスターすることを目的とする。					
2. 講義計画						
第 1 週	基本的なPhotoshopの触り方					
第 2 週	パスを使ってのカスタムシェイプを作る。テキスト作成・文字組					
第 3 週	ブラシの定義・ブラシの設定。カスタムシェイプを作る。ブラシ設定のおさらい。					
第 4 週	インベーターを描く。(数パターン作成)					
第 5 週	インベーターを描く。パスのおさらい(時計文字盤制作) 名刺用素材作り					
第 6 週	フィルタを使った描画方法					
第 7 週	フィルタ、パスによる切抜き、画像加工。文字入れ、レイヤースタイルを使う。					
第 8 週	JPEG、PNG、GIF、PSD説明。パスとフィルタで素材を加工する。					
第 9 週	パスでくり抜き。素材を利用加工して画像を作る。パスでアウトライン作成。					
第 10 週	いけがめくんアウトライン2種作成。					
第 11 週	いけがめくん主線色おき。色塗り①色ごとに選択(自動選択) ②パスで色域作成。					
第 12 週	新規調整レイヤー。塗りつぶしレイヤーにパスのマスク					
第 13 週	暑中見舞い作成、パスフィルタ、文字ツール illustratorソフト説明					
第 14 週	illustratorCS4 色の設定方法、線の太さ、文字ツール、変形、コピー					
第 15 週	illustratorCS4 アウトライン化・グループ化・ブラシペン、ブラシの設定					
第 16 週	リンクファイルについて。タイポグラフィ					
第 17 週	「前期総決算」をロゴにしたA4版広告的なもの。Photoshop・illustrator両方使用					
第 18 週	引き続き「前期総決算」広告作成。					
3. 関連科目及び注意点						
illustrator						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験(実技試験) および課題により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: 独自プリントにて対応。					
参考書	:					
6. 注意事項						
パソコンを使っての実習である。						

科 目		2 D C G 概 論 II (後 期)				
担当教員	玉谷真希	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
1. 概要						
目的	Adobe社製illustratorの操作方法を取得する。Photoshopとの組み合わせで、画像を加工したり作成する技術を学ぶ。					
2. 講義計画						
第 1 週	Photoshopでの写真補正 (フォトレタッチ) トーンカーブ等色調整補正					
第 2 週	画像処理、画像加工 (Photoshop) スタンプツール、マスク、パス					
第 3 週	背景画像に別の画像パスで切抜いて置き、馴染ませる。色調をあわせる練習					
第 4 週	スポイトで色を拾う。レイヤー合成モードを活用。トーンカーブ等。					
第 5 週	サンタのイラストをillustratorで清書する。パスで作画、着色。					
第 6 週	illustratorで作画を進める。素材として使う準備⇒アウトライン化 ポストカードを作る。					
第 7 週	Illustrator・Photoshopで家庭用印刷機用データの準備、使い方。					
第 8 週	自分で描いたイラストをPCに取り込んでillustratorで仕上げ素材にする。					
第 9 週	年賀状作り。ショートカットについて。印刷物のトリムマークについて					
第 10 週	節分関連の色々。鬼の福笑い、節分についてのチラシ。変形⇒コピー機能、アウトライン化					
第 11 週	新作チョコレートの宣材作成。Photoshop・illustratorで素材作り。					
第 12 週	新作チョコレート宣材の完成・改良。試験用素材の作成。提出時の注意。					
第 13 週	新作クッキーの宣材作成。ロゴ・商品イラスト・パッケージ・ポスター					
第 14 週	新作クッキーの宣材作成。飴も追加。ロゴ・商品イラスト・パッケージ・ポスター					
第 15 週	試験準備					
第 16 週	試験準備					
第 17 週	実技試験					
第 18 週	評価用課題作成 (提出)					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験 (実技試験) および検定試験により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:					
6. 注意事項						
パソコンを使っでの実習である。						

科 目	社会生活実習 I (前期)					
担当教員	高橋 敦司	学年	1年	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	68 単位時間			
1. 概要						
目的	他の領域・教科での学びを総合的に取り入れ、社会で体験するであろう活動や、そのために必要なスキルを身に付ける。					
2. 講義計画						
第 1 週	学年対面・自己紹介・地域道案内					
第 2 週	エンカウンター・前期目標設定					
第 3 週	花壇の花植え					
第 4 週	花見・春の写生会					
第 5 週	カフェ実践①					
第 6 週	カフェ実践②					
第 7 週	調理実習①					
第 8 週	調理実習②					
第 9 週	調理実習③					
第 10 週	調理実習④					
第 11 週	反省・草むしり					
第 12 週	カフェ実践③					
第 13 週	カフェ実践④					
第 14 週	テスト計画・面談					
第 15 週	テスト勉強					
第 16 週	予備日					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
・平常点・定期試験による評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目	社会生活実習 I (後期)					
担当教員	高橋 敦司	学年	1年	履修期間	後期	
学科	学科					
	種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要						
目的	他の領域・教科での学びを総合的に取り入れ、社会で体験するであろう活動や、そのために必要なスキルを身に付ける。					
2. 講義計画						
第 1 週	面談・後期目標					
第 2 週	秋の写生会					
第 3 週	ペーパークラフト					
第 4 週	押し花					
第 5 週	工作					
第 6 週	調理実習①					
第 7 週	調理実習②					
第 8 週	調理実習③					
第 9 週	調理実習④					
第 10 週	クッキー作り					
第 11 週	クッキー作り					
第 12 週	1年お別れ会計画					
第 13 週	1年お別れ会計画					
第 14 週	テスト計画・テスト学習・面談					
第 15 週	年度反省・お別れ会					
第 16 週	予備					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
・平常点・定期試験による評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		デジタルサウンド基礎実習 I (前期)				
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 簡単な音楽を作り、システムの素材として活用できる技術を学ぶ。					
2. 講義計画						
第 1 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 1					
第 2 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 2					
第 3 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 1					
第 4 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 2					
第 5 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 1					
第 6 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 2					
第 7 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 1					
第 8 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 2					
第 9 週	「春」 整理。フリーで 1 曲作る。 1					
第 10 週	「春」 整理。フリーで 1 曲作る。 2					
第 11 週	「春」 整理。フリーで 1 曲作る。 3					
第 12 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d 1					
第 13 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d 2					
第 14 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d 3					
第 15 週	試験準備 1					
第 16 週	試験準備 2					
第 17 週	前期試験 1					
第 18 週	前期試験 2					
3. 関連科目及び注意点						
デジタルサウンド基礎実習 II						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験 (実技試験) および課題点により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: プリントにて対応					
参考書	:					
6. 注意事項						
パソコンを使つての実習である。						

科目	デジタルサウンド基礎実習Ⅱ（後期）					
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要						
目的	マイクロソフト社Word2010の基本操作を取得する。 Word検定3級（サーティファイ主催）およびワープロ検定3級（日本情報処理検定普及協会）が合格できるレベルを目指す。					
2. 講義計画						
第1週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	1				
第2週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	2				
第3週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	1				
第4週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	2				
第5週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	1				
第6週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	2				
第7週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	1				
第8週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	2				
第9週	B・POP 自前で作る	1				
第10週	B・POP 自前で作る	2				
第11週	B・POP 自前で作る	3				
第12週	Bright POP自作	1				
第13週	Bright POP自作	2				
第14週	Bright POP自作	3				
第15週	試験準備	1				
第16週	試験準備	2				
第17週	後期試験	1				
第18週	後期試験	2				
3. 関連科目及び注意点						
デジタルサウンド基礎実習Ⅰ						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：プリントにて対応					
参考書	：					
6. 注意事項						
パソコンを使つての実習である。						

科 目	パソコン基礎実習 I (前期)				
担当教員	佐藤 隆博	学年	1学年	履修期間	前期
学科	情報システム科				
種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windowsの基本操作（エクスプローラー、設定、ショートカットキーなど）から、Wordで簡単なビジネス文書およびPOPが出来るまでの技術を学ぶ。 ・ 後期に向けてExcelの概要も学ぶ。 			
2. 講義計画	第 1 週	パソコンの基本操作の確認			
	第 2 週	Windows10の基本操作			
	第 3 週	Word基礎1 画面、日本語入力、操作方法			
	第 4 週	Word基礎2 ショートカットキー マウスポインタ			
	第 5 週	Word基礎3 書式の設定（センタリング等）			
	第 6 週	Word基礎4 均等割り付け、表の挿入			
	第 7 週	Word基礎5 テキストボックス・図形の挿入			
	第 8 週	Word基礎6 画像の挿入、画像の加工			
	第 9 週	Word基礎7 ビジネス文章作成			
	第 10 週	Word基礎8 ビジネス文章作成			
	第 11 週	Word基礎9 POPの作成			
	第 12 週	Word基礎10 POPの作成			
	第 13 週	Word基礎11 ワープロ検定 3級模擬			
	第 14 週	Excel概要 セル・ワークシート・ブック 数式の考え方			
	第 15 週	前期定期試験1			
	第 16 週	前期定期試験2			
3. 関連科目及び注意点	ノートパソコンが必要				
4. 成績評価の方法	課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価				
5. 教科書及び参考書など	教科書	:			
	参考書	: 今すぐ使えるかんたん Word & Excel & PowerPoint 2019			
6. 注意事項	パソコンを使つての実習である。				

科 目	パソコン基礎実習Ⅱ（後期）				
担当教員	佐藤隆博	学年	1学年	履修期間	後期
学科	情報システム科				
種別	演習	単位時間	68	単位時間	2
1. 概要					
目的	Excelを仕事で活動できるまでの技術を学ぶ。マクロを除く、数式・関数を使用すること、相対参照・絶対参照がわかるように学習する。また、卒業研究発表の資料を作成するためPowerPointの基本的な機能も学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	前期の復習				
第 2 週	Excel基礎1	入力の方法、フィルハンドル			
第 3 週	Excel基礎2	オートサムボタンの活用			
第 4 週	Excel基礎3	絶対参照・相対参照			
第 5 週	Excel基礎4	丸め(INT ROUND)			
第 6 週	Excel基礎5	順位(RANK. EQ)			
第 7 週	Excel基礎6	分岐(IF)			
第 8 週	Excel基礎7	表検索(VLOOKUP)			
第 9 週	Excel基礎8	論理関数(AND, OR)	表計算検定模擬		
第10週	PowerPoint1	操作基本			
第11週	PowerPoint2	テキスト・画像			
第12週	PowerPoint3	グラフ挿入			
第13週	PowerPoint4	卒論資料作成			
第14週	PowerPoint5	卒研資料作成			
第15週	後期定期試験1				
第16週	後期定期試験2				
3. 関連科目及び注意点					
ノートパソコンが必要					
4. 成績評価の方法					
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	:				
参考書	: 今すぐ使えるかんたん Word & Excel & PowerPoint 2019				
6. 注意事項					
パソコンを使つての実習である。					

科 目		デッサン I (前期)			
担当教員	清水良洋	学年	1	履修期間	前期
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要					
目的	物事を観察する能力を高めることを目的とする。 GUIのデザイン等、システム開発にも活かせるデザインセンスを学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	イメージトレーニング、画材の使い方				
第 2 週	基本体デザイン				
第 3 週	立方体、円筒形				
第 4 週	立方体、円筒形				
第 5 週	パッケージデザイン				
第 6 週	パッケージデザイン				
第 7 週	手とスマートフォン				
第 8 週	手とスマートフォン				
第 9 週	手とスマートフォン				
第 10 週	静物 I (硬い物)				
第 11 週	静物 II (硬い物)				
第 12 週	静物 I (柔らかい物)				
第 13 週	静物 II (柔らかい物)				
第 14 週	動物デッサン				
第 15 週	動物デッサン				
第 16 週	動物デッサン				
第 17 週	前期試験 I				
第 18 週	前期試験 II				
3. 関連科目及び注意点					
	立体造形 I				
4. 成績評価の方法					
	日常点および定期試験 (実技試験) および課題により評価				
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: 特に使用しません。				
参考書	:				
6. 注意事項					
	スケッチブックを使用します。				

科 目		デッサンⅡ（後期）				
担当教員	清水良洋	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
1. 概要						
目的	デッサンⅠに引き続き、観察能力と創造力を高める。簡単な立体から複雑な物を描くように進めて行く。					
2. 講義計画						
第 1 週	人間のプロポーション					
第 2 週	人体を描く					
第 3 週	顔のバランスについて					
第 4 週	顔を描く					
第 5 週	クリスマスケーキを描く 1					
第 6 週	クリスマスケーキを描く 2					
第 7 週	一点透視法について 1					
第 8 週	一点透視法について 2					
第 9 週	室内を描く 1					
第 10 週	室内を描く 2					
第 11 週	室内を描く 3					
第 12 週	幾何形体 1					
第 13 週	幾何形体 2					
第 14 週	人形を描く 1					
第 15 週	人形を描く 2					
第 16 週	後期試験準備					
第 17 週	後期試験 1					
第 18 週	後期試験 2					
3. 関連科目及び注意点						
	デッサンⅠ、立体造形Ⅰ・Ⅱ					
4. 成績評価の方法						
	日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価					
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：特になし					
参考書	：					
6. 注意事項						
	スケッチブックを使用。					

科 目		Java基礎（後期）				
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	102	単位時間		
1. 概要						
目的	Javaの基本的な概念を学び、簡単なJavaアプリが作成できるようにする。					
2. 講義計画						
第 1 週	Javaのプログラム 開発環境の設定 コードの入力 コンパイラ 実行					
第 2 週	画面への出力 コードの内容					
第 3 週	文字と数値					
第 4 週	練習					
第 5 週	変数の仕組み 識別子 型 変数の宣言 変数の利用					
第 6 週	キーボードから値を入力し、変数に代入する					
第 7 週	練習					
第 8 週	式と演算子 式の仕組みを知る 式の値を出力する いろいろな演算をする					
第 9 週	演算子の種類 インクリメント演算子・デクリメント演算子 前置き・後置き					
第 10 週	練習					
第 11 週	場合に応じた処理 関係演算子と条件 if文					
第 12 週	if~else文					
第 13 週	複数の条件を判断する Swich文の仕組みを知る					
第 14 週	論理演算子					
第 15 週	何度も繰り返す for文 While文 do while文					
第 16 週	配列					
第 17 週	後期定期試験 1					
第 18 週	後期定期試験 2					
3. 関連科目及び注意点						
	情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。					
4. 成績評価の方法						
	課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価					
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）					
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）					
6. 注意事項						
	パソコンを使つての実習である。					

科 目		身体操作法 I (前期)				
担当教員	田中 直子	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要						
目的	①自身の心身に気づき、セルフチェックができるようになる ②ボディイメージの向上と体力・筋力のアップ ③チャレンジする気持ちや集中力を高める ④リラックスできる方法を知る					
2. 講義計画						
第 1 週	オリエンテーション：自己紹介カード作成、知り合うムーブメント					
第 2 週	心身のセルフチェック：呼吸法と身体の重みを知る					
第 3 週	重心の移動と連動する身体の動き：体幹					
第 4 週	重心の移動と連動する身体の動き：四肢の働き					
第 5 週	背骨の 6 方向の動きをよくする					
第 6 週	背骨の 6 方向の動きをよくする					
第 7 週	バランスの向上：目線と姿勢					
第 8 週	バランスの向上：呼吸と身体の伸び					
第 9 週	連続した動き：12 個のポーズを覚える					
第 10 週	連続した動き：12 個のポーズを覚える					
第 11 週	自分のペースを知る：12 個のポーズを連続で行う					
第 12 週	自分のペースを知る：12 個のポーズを連続で行う（スローモーション）					
第 13 週	自分のペースを知る：12 個のポーズを連続で行う（目を閉じて）					
第 14 週	脚力の強化：立位ポーズ					
第 15 週	脚力の強化：立位ポーズ					
第 16 週	心身のセルフチェック：心拍変動と呼吸					
第 17 週	前期振り返りシートの記入：ヨガ遊び					
第 18 週	心身を休める自律訓練法					
3. 関連科目および注意点						
コミュニケーションの授業と関連。教室は講堂を使用						
ヨガマット、ボールや体操用マットなど学校にある体育用具を使用することもある						
4. 成績評価の方法						
ペーパー試験は実施せず。振り返りシート（レポート）で評価						
5. 教科書および参考書など						
教科書	：なし					
参考書	：なし					
6. 注意事項						

科目		身体操作法Ⅱ（後期）				
担当教員	田中 直子	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要						
目的	①心身の緊張をゆるめる ②協調運動能力の向上 ③コミュニケーションカアップ：ペアワーク、チームワーク					
2. 講義計画						
第1週	転がる身体					
第2週	転がる身体					
第3週	股関節の動きをよくする：進化ジャンケン					
第4週	股関節の動きをよくする：進化ジャンケン					
第5週	アームバランス：腕力、体幹、重心の取り方、ペアワーク					
第6週	アームバランス：腕力、体幹、重心の取り方、ペアワーク					
第7週	逆転のポーズ：体幹、バランス					
第8週	逆転のポーズ：体幹、バランス					
第9週	リズムに合わせて動く					
第10週	リズムに合わせて動く					
第11週	体のリラックスと体幹・コミュニケーション：綱引き					
第12週	ペアワーク：コミュニケーション、協働					
第13週	身体への気づき：静止したポーズ、呼吸、集中					
第14週	身体への気づき：静止したポーズ、呼吸、集中					
第15週	連続した動き：集中力、記憶力、体幹、四肢の強化					
第16週	連続した動き：集中力、記憶力、体幹、四肢の強化					
第17週	後期振り返りシート記入、サーキット遊び：チームワーク					
第18週	心身のセルフチェック、ボディーマッピング：ペアワーク					
3. 関連科目および注意点						
<p>ヨガマット、ボールや体操用マットなど学校にある体育用具を使用することもある</p>						
4. 成績評価の方法						
振り返りシート（レポート）で評価する						
5. 教科書および参考書など						
教科書	：なし					
参考書	：なし					
6. 注意事項						